

< N P O法人等の非農家等との連携を目標としている事例 >

子どもから高齢者まで活気あふれる集落に

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	青森県七戸町 <small>しちのへまち</small> 沼ノ沢 <small>ぬまのさわ</small>			
協定面積 13.1ha	田(100%) 水稲、野菜	畑	草地	採草放牧地
交付金額 274.8万円	個人配分			50 %
	共同取組活動 (50%)	担当者活動経費		3 %
		鳥獣害防止対策及び水路・農道等の維持管理等経費		43 %
		体制整備に関する活動経費		2 %
	その他(事務費等)		2 %	
協定参加者	農業者 11人、野沼駒踊り保存会			

2. 取組に至る経緯

当集落は、七戸町の市街地から南西に位置し、十和田市との境に位置する農村地帯である。農家の後継者は他産業への従事者が多く、農業の主体は65歳前後の高齢者が担っているのが現状であるため、近隣の道地集落と統合し、地域農業の安定化等を目指して活動に取り組むこととした。

3. 取組の内容

平成17年度から集落内で生産された農産物に付加価値をつけて販売するため、大豆・そばの加工に取り組んでおり、主に農家の配偶者を対象とした加工に関する講習会を開催して加工技術の向上を図るとともに、町内にある道の駅内の直売施設で販売を行っている。

このほか、伝統芸能「駒踊り」の継承者が年々減少していたことから、野沼駒踊り保存会（集落協定代表者が会長を兼務）と連携して、小学生から高校生までの世代に踊りの指導を行い後継者を育成するとともに、町内の祭りやイベント等で「駒踊り」を披露し、地域の結びつきを強める活動も行っている。

今後は、農業生産活動の主体を担っている高齢者の引退が予想されることから、専業農家を中心とした農作業受託組織を立ち上げ、農地の維持と農業生産体制の確立を目指すとしている。



そば粉の加工の様子



祭りでの駒踊り

[集落の将来像]

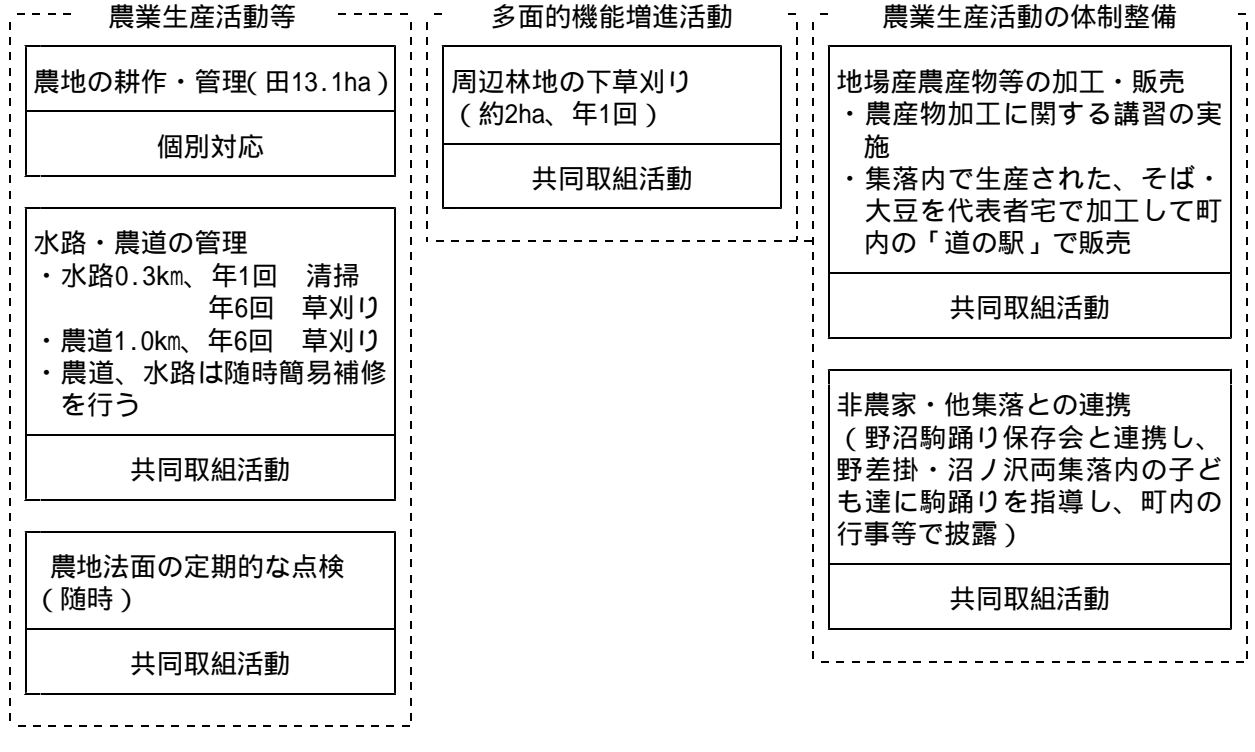
農作業受託の組織化を進めるとともに他産業へ就職した後継者の参加を求めながら、生産体制の安定化に努める。また、当集落には「駒踊り」という伝統芸能があるが、指導者の高齢化が進んできていることから、若い世代の勧誘を進め、地域の団結を高めていく。



[将来像を実現するための活動目標]

農産物の加工・販売に向けた加工技術の向上
伝統芸能の継承のため、後継者を育成

[活 動 内 容]



4 . 取組による変化と今後の課題等

野沼駒踊り保存会の活動を通じて、集落内の結びつきが以前よりも強まっている。一方、駒踊り指導者の高齢化が進んでいることから、指導者の育成が急務となっている。

また、農業者も高齢化が進んでおり、高齢者の引退により生産体制の維持・確保が困難となることが予想されるため、後継者の確保も課題となっている。

[平成20年度までの主な成果]

地場産農産物等の加工・販売による所得の向上
・講習会の実施による、加工技術の向上
・そばや大豆を加工し、「道の駅」にて販売
伝統芸能「駒踊り」の継承による地域活性化
野沼駒踊り保存会と連携し、後継者の育成と地域住民との交流